

2021年3月期 決算説明資料

2021年5月13日（木）
株式会社 **力ネカ**

目 次

業績概要	1
セグメント別 売上高・営業利益	2
事業概況	4
貸借対照表	8
キャッシュ・フロー計算書	9
業績予想	10

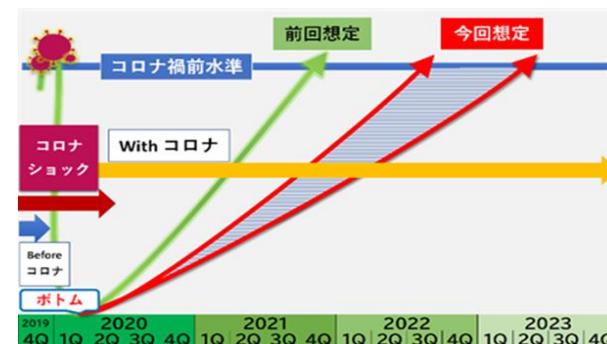
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(単位：億円)

	2021年3月期					対前年				当年度 3Q・4Q vs. 1Q・2Q	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	通期		3Q・4Q		金額	%
						金額	%	金額	%		
売上高	1,266	1,401	1,548	1,559	5,774	△ 241	△4.0%	91	3.0%	440	16.5%
営業利益	20	50	103	103	275	15	5.9%	73	55.4%	135	191.6%
経常利益	8	32	86	94	221	19	9.4%	76	72.0%	140	349.2%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	4	20	72	62	158	18	13.1%	54	67.8%	109	439.2%

(世界経済)

- '20年はコロナウイルスの大きな打撃を受け3.3%のマイナス成長
- アメリカ、中国を除くと、先進国、発展途上国は
コロナ禍前の水準に戻るの'22年から'23年になると見込まれ、
不透明な状況が続く



(当社グループの業績)

- 1Q、2Qは減収減益
- 3Q・4Qはコロナ禍前を超えるモメンタムを取り戻し、1Q・2Q比で大幅な増収増益、通期も増益
- 3Q、4Qは営業利益100億円を越える水準



セグメント別 売上高・営業利益



カガクでネガイをカナエル会社

(単位：億円)

	売上高										
	2021年3月期					対前年				当年度 3Q・4Q vs. 1Q・2Q	
						通期		3Q・4Q			
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	金額	%	金額	%	金額	%
Material SU	489	556	602	658	2,305	△113	△4.7%	46	3.8%	215	20.6%
Quality of Life SU	297	339	392	382	1,410	△139	△9.0%	14	1.8%	136	21.4%
Health Care SU	117	128	141	139	524	61	13.1%	36	14.6%	35	14.4%
Nutrition SU	359	376	411	378	1,524	△51	△3.2%	△6	△0.7%	54	7.3%
その他	4	2	2	3	11	1	4.8%	△0	△0.2%	△1	△13.2%
調整額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	1,266	1,401	1,548	1,559	5,774	△241	△4.0%	91	3.0%	440	16.5%

	営業利益										
	2021年3月期					対前年				当年度 3Q・4Q vs. 1Q・2Q	
						通期		3Q・4Q			
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	金額	%	金額	%	金額	%
Material SU	29	45	65	94	233	26	12.8%	55	52.5%	85	115.6%
Quality of Life SU	12	27	44	23	107	△35	△24.9%	1	1.7%	28	71.0%
Health Care SU	23	27	32	33	114	25	28.2%	16	32.8%	15	30.1%
Nutrition SU	8	6	19	16	49	△8	△13.6%	2	4.9%	20	140.7%
その他	2	1	1	2	6	1	9.2%	△0	△1.5%	△1	△24.8%
調整額	△54	△56	△58	△64	△233	6	-	△0	-	△13	-
計	20	50	103	103	275	15	5.9%	73	55.4%	135	191.6%

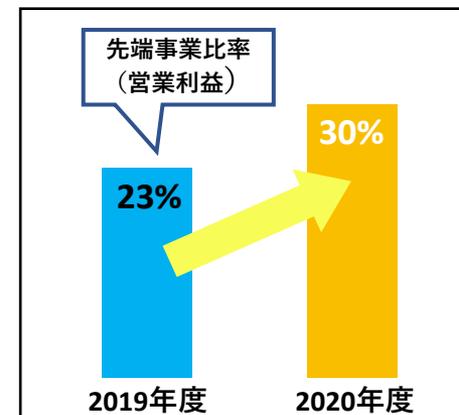
※SU : Solutions Unit

(事業セグメント業績)

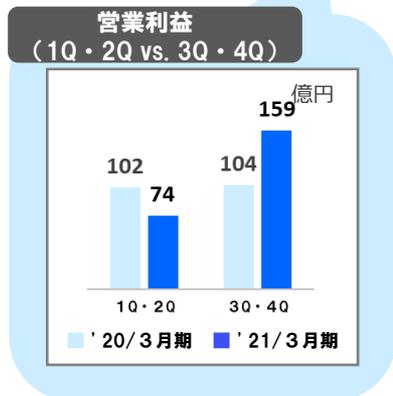
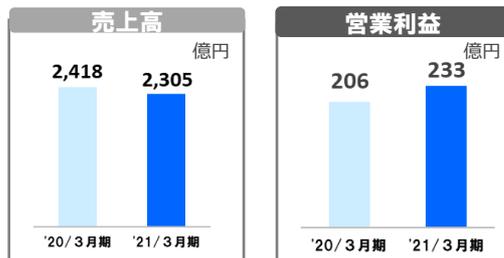
- 3Q・4Qは、全セグメントが1Q・2Q比で大幅増収増益、夫々前年同期で増益
- 1Q・2Qの厳しい落ち込みをカバーし、新しい市場拡大が再び始まっている
- 各セグメントの海外需要が力強く復調している
海外売上高比率 1Q : 36% 2Q : 39% 3Q : 42% 4Q : 43%

(コア事業と先端事業)

- 先端事業の全社売上高・収益構造に占める割合は着実に拡大、事業ポートフォリオの変革進む
- ヘルスケアは、バイオ系医薬製品がワクチンや治療薬、検査キットなどコロナ禍に貢献
- 細胞の免疫機能を活性化する還元型コエンザイムQ10や乳酸菌、衛生用手袋用素材など社会課題に応えるモノづくりが業績を支える
- E&I、PVIは、5Gの社会実装化やカーボンニュートラル向けなど、当社のユニークなTechnologyが新しい成長期に入りつつある
- コア事業（Vinyls、MOD、MS、Fibers）は海外市場での高付加価値品の販売が拡大。市場が巡航モードを回復するなかで、スケールある事業特性がグループ全体の収益力向上を支える



売上高 2,305億円 (対前年 Δ 4.7%)
営業利益 233億円 (対前年 12.8%)



Vinyls and Chlor-Alkali

- コロナ対応の衛生用手袋（ペースト）の販売拡大、アジアの塩ビ市場も急回復、需要に応えるため内外の工場はフル稼働

Performance Polymers (MOD)

- 欧米の建材・DIY用途、アジアの非塩ビ用途の需要増を取り込み、塩ビ系・非塩ビを問わずグループ全体の販売は前年を大きく上回る

Performance Polymers (MS)

- 欧米で新製品販売拡大、中国・アジアの建築・工業用途が開花
- 3Q・4Qは過去最高水準の販売

新規事業

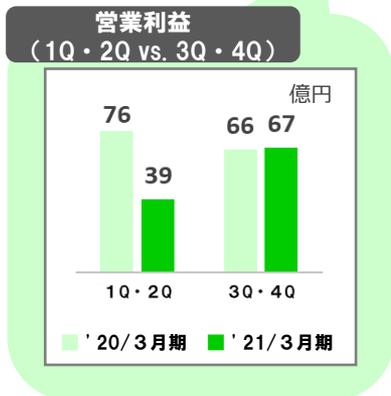
- 生分解性ポリマー「Green Planet」は、引き合いが急増し、世界の大手ブランドホルダーとの共同開発や加工技術開発、コストダウンの取り組みを加速
- 量産プラントの決定は最終ステージ



事業概況 (Quality of Life Solutions Unit)

売上高 1,410億円 (対前年 $\Delta 9.0\%$)

営業利益 107億円 (対前年 $\Delta 24.9\%$)



Foam & Residential Techs

- EPS、KLFは国内市場低迷のなかシェア拡大
- EPOは自動車生産の回復に伴い復調
- コロナワクチンの低温輸送「Tack Pack」は新用途として採用開始

PV & Energy management

- 住宅向け高効率太陽電池の搭載率アップ。販売拡大
- カーボンニュートラルが追い風。ZEH、ZEBの社会実装化にフィットした「発電する窓」、「発電する壁」など省エネソリューションの市場拡大

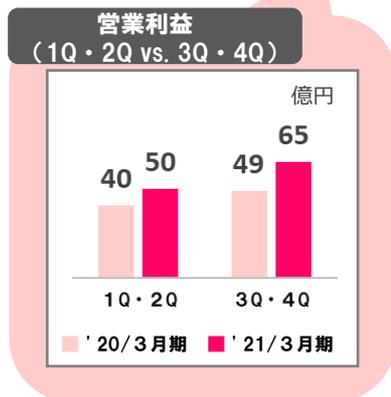
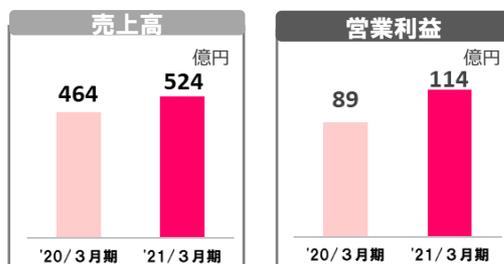
E & I Technology

- タブレット・ノートPC・スマホ需要拡大、ピクシオ過去最高レベルの出荷
- 5Gスマホ向け新製品の開発の加速、ポリイミドワニスのOLED向け販売拡大

Performance Fibers

- アフリカ向けの頭髮は順調に回復、4Qは前年を大きく上回る販売

売上高 **524億円** (対前年 13.1%)
営業利益 **114億円** (対前年 28.2%)



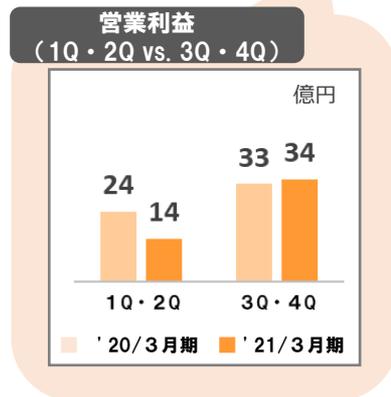
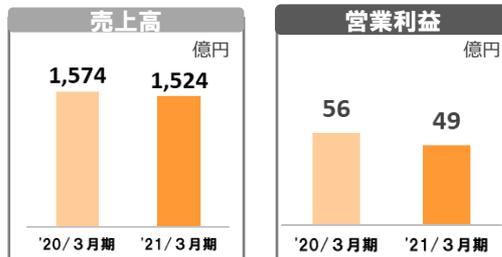
Medical

- コロナ禍による治療頻度減も、Web企画などの販促活動でカテーテルは国内外で販売増加
- 脳動脈瘤塞栓コイル（新製品）販売好調
- ASO治療用新血液浄化器を3月発売、市場評価高い

Pharma

- アビガン原薬、PCR検査試薬、ワクチン中間体の受託製造の受注が急拡大、前年比で大幅な増益
- KEGTのバイオ医薬増設ラインは今後フル戦力化、収益拡大に寄与

売上高 1,524億円 (対前年 $\Delta 3.2\%$)
 営業利益 49億円 (対前年 $\Delta 13.6\%$)



Supplemental Nutrition

- 「免疫力アップ」意識の高まりで還元型コエンザイムQ10が欧米で販売増
- AB-Biotics社の乳酸菌製品は欧州で販売好調
米国は生産販売の体制強化で拡販のギアを上げる

Foods & Agris

- コロナ禍による国内インバウンド、外食が低迷
- 「わたしのチカラ Q10ヨーグルト」、「パン好きのミルクティー」など本物志向の乳製品の品揃え好評
- DXによる製品の受発注や生産・販売管理などサプライチェーンの抜本的な再編、生産性向上に取り組んでいる。収益性改善を構築する



貸借対照表

(単位：億円)

	2020年3月末	2021年3月末	増減
資産の部			
流動資産	3,069	3,090	22
固定資産 等	3,464	3,584	120
資産合計	6,533	6,674	142
負債の部			
有利子負債	1,308	1,182	△ 126
その他	1,683	1,681	△ 2
負債合計	2,992	2,864	△ 128
純資産の部			
自己資本	3,315	3,571	256
非支配株主持分 他	226	239	13
純資産合計	3,541	3,810	269
負債、純資産 合計	6,533	6,674	142
自己資本比率	50.7%	53.5%	
1株当たり純資産	5,082.08円	5,473.85円	

- 総資産は、現金及び預金や投資有価証券の増加等により増加
- 負債は、借入金の減少等により減少
- 純資産は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加等により増加



キャッシュ・フロー計算書

Kaneka

カガクでネガイをカナエル会社

(単位：億円)

	2020年3月期	2021年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	400	740
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 418	△ 432
フリー・キャッシュ・フロー	△ 18	308
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5	△ 219
現金及び現金同等物の増減額 (含 換算差額、連結の範囲の変更に伴う増減)	△ 24	88
現金及び現金同等物の期末残高	376	464

- 営業CFは、税金等調整前当期純利益や減価償却費等により740億円の収入
- 投資CFは、有形固定資産の取得等により432億円の支出
- 財務CFは、配当金の支払や借入金の返済等により219億円の支出



(2022年3月期の連結業績見通し)

不確実性の継続

(1) コロナパンデミックがいつどんな風に終息するのか (2) 地球温暖化を原因とする自然災害は予測不可能ではないか (3) 米中対立の再燃をはじめ地政学的リスクは高まってははいないか、などを考えると不透明性は否定しようもない。引き続き情勢を注視していく必要がある

- 先端事業は、Health Care領域にて、Pharmaが引き続きコロナ禍の下で社会貢献、新製品の販売が本格化するMedicalとともに収益が拡大。5G向けポリイミド新製品の拡販が見込まれるE&Iも収益拡大
- コア事業は、Material系が引き続き旺盛な海外需要の伸長を背景に販売が拡大
- '21年度は、先端事業・コア事業のどちらも'20年度と同じく海外市場での販売拡大を軸に強いモメンタムを継続すると想定

(単位：億円)

	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (予想)	増減	
			金額	%
売上高	5,774	6,200	426	7.4%
営業利益	275	370	95	34.3%
経常利益	221	325	104	47.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	158	220	62	39.0%
1株当たり当期純利益	242.68円	337.25円	94.57円	

【前提条件】 為替レート：105円/米ドル、125円/ユーロ 国産ナフサ価格：45,000円/KL



業績予想（セグメント別）

Kaneka

カガクでネガイをカナエル会社

（単位：億円）

	売上高				営業利益			
	2021年3月期 （実績）	2022年3月期 （予想）	増減		2021年3月期 （実績）	2022年3月期 （予想）	増減	
			金額	%			金額	%
Material SU	2,305	2,430	125	5.4%	233	240	7	3.1%
Quality of Life SU	1,410	1,520	110	7.8%	107	150	44	40.8%
Health Care SU	524	680	156	29.7%	114	150	36	31.2%
Nutrition SU	1,524	1,560	36	2.4%	49	60	11	23.0%
その他	11	10	△ 1	△13.0%	6	5	△ 1	△16.4%
調整額	-	-	-	-	△ 233	△ 235	△ 2	-
計	5,774	6,200	426	7.4%	275	370	95	34.3%

※SU：Solutions Unit

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

<IRに関するお問い合わせ>

株式会社 **カネカ** IR・広報部

TEL : 03-5574-8090